

2026年7月1日

各位

公益財団法人 日本卓球協会

## 2026年（令和8年）9月1日改定・実施の日本卓球ルール（改定概要）

2026年（令和8年）1月1日の国際卓球連盟のルール改定を受け、国内のルール改定を行います。

- (注)・波線のアンダーラインは、2026年1月1日に国際卓球連盟が国際卓球ルールを変更したものであることを示す。
- ・一重線のアンダーラインは、国際卓球ルールの原文では記載されていないが、変更内容を分かりやすくするために（公財）日本卓球協会が独自に追加したものであることを示す。
  - ・二重線のアンダーラインは、国際卓球連盟以外の文言の修正を示す。

### 1. 条文

#### 第2章 競技ルール

##### 2.2.3 競技条件

2.2.3.1 競技領域は、長さ14m以上、幅7m以上の長方形を含む広さがあり、高さ5m以上の直方体を含む領域であれば、形状は任意とする。ただし、長方形の形状の場合、四隅はフェンスで囲むことができる。一車椅子を使用する競技会では、競技領域を狭くすることができるが、長さ8m、幅6mより狭くしてはならない。マスターズ競技会では、競技領域を狭くすることができるが、長さ10m、幅5mより狭くしてはならない。

##### 2.2.4 ラケットコントロール

2.2.4.5 大会では、競技者が公認接着剤を使用してラケットにラバーを貼る場所が提供されなければならない。

##### 2.3.2 主審、副審、ストロークカウンター、テーブルテニスレビュー（TTR）ビデオ判定役員

2.3.2.8 テーブルテニスレビュー（TTR）ビデオ判定が実施されている場合、主審か副審のどちらかが行ったポイントとなる事実の判定をTTR ビデオ判定役員は 2.2.7.1 に従い覆すことができる。

### 2. 公布年月日

2026年（令和8年）7月1日

### 3. 改定年月日

2026年（令和8年）9月1日

以上